

### **【修士論文に係る評価基準】**

修士論文の評価では、学位申請論文が当該分野における学術的意義、独創性等を有しているかどうか、学位申請者が研究の推進能力、高度な臨床実践能力、研究成果の論理的説明能力、当該分野に関連する幅広い専門的知識、倫理性等を有しているかどうかを基に評価する。

### **【修士論文が満たすべき水準】**

- ・ 研究の意義・目的が明確であり、関連学問・臨床分野及び新しい学問・臨床分野に貢献できる水準である。
- ・ 既存の研究成果をふまえ、かつ独創性の認められる研究である。
- ・ 研究テーマと研究結果の整合性が保たれている。
- ・ 科学的根拠に基づいた論理的なものであり、その成果が大学院修了後に現場における生活機能支援に還元できるものである。

### **【審査委員の体制と審査方法】**

修士論文又は課題研究報告書の審査は、大学院運営会議で選任された研究科の教員2名（主査1名、副査1名）が実施する内容審査及び審査会での学位申請論文等と専門知識についての口頭試問で行われる。学位申請論文等の合否認定は、大学院運営会議で行う。なお、大学院運営会議での審議までに、修士課程修了に必要な30単位を修得していることが認定審議の条件となる。

### **【学位論文審査項目】**

#### I. 研究の意義・目的

研究の意義・目的が明確であるか、学術的な特色・独創性や臨床的な重要性があるか、該当学問分野・周辺分野に対する貢献が可能な研究であるか。

#### II. 文献の検討（既存の研究成果をふまえているか）

先行研究が適切にレビューされているか、研究の背景が明確であり、また研究目的の着想に至った経緯および動機が論理的であるか。

#### III. 研究方法および結果

研究方法・臨床場面での介入方法・データの処理が研究倫理に準拠し、科学的に適切に行われ、研究結果が論理的に導かれているか。

#### IV. 研究テーマと考察の整合性、論理性

総合論議・考察が研究テーマに沿った形で行われているか、考察が論理的になされているか、該当分野・周辺分野に与える影響について考察されているか、今後の課題が明確になっているか。